



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎052(961)2491

肺がんによる死亡はまだまだ増加しており、たばこ対策などの予防が重要であることに変わりはありませんが、低線量コンピュータ断層撮影（CT）肺がん検診により、肺がんによる死亡を減少させる可能性が示されるようになってきました。

CT検診では、胸部単純エックス線検診と比較して肺がん発見率は十倍ほど高く、早期肺がんの発見率も高く、その治療成績も良好であることが報告されています。米国と欧州で複数のランダム化比較試験が行われ、重喫煙者での肺がん死亡率減少効果が示されました。

当院でもこのたび、より診断能力が高く安心して受けることができるCT装置を導入しました。被ばく線量は通常の胸部CTでは八割程度ですが、導入した検査装置では一割

## 低線量CT肺がん検診



低線量撮影ができるCT

割以下で撮影することが可能です。一〇〇ミリシーベルトまでの被ばく線量では発がん性は増加しないといわれていますので安心です。

低線量CT肺がん検診は、五十歳以上の喫煙する方あるいは以前に喫煙されていた方、近親者に肺がんになった方がいる方、定期的な検診を希望される方にお勧めします。また肺がん以外の呼吸器の病気（肺気腫、肺炎、気管支拡張症、抗酸菌感染症など）や心臓や血管の動脈硬化などが発見されることもありますのでぜひご検討ください。

（健診センター所長・野村史郎）

## 診断能力向上 早期発見も